

## 東伯総合運動公園・赤碕総合運動公園改修事業に伴うワークショップ

第2回 「誰もが心地よく過ごせ、共に支える運動公園の未来を考えましょう」

日時：2022年（令和4年）10月22日（土） 13:30～15:30

場所：琴浦町役場本庁舎2階 防災会議室

参加者：12名（第1回からの参加者：7名）

### 1. 事業説明及び、ワークショップ開催の主旨

### 2. ワークショップ

テーマ：運動公園の未来を一緒に考えましょう！

ファシリテーター：大阪大学大学院工学研究科 特任助教 辻 寛 様

#### （1）前回の振り返りとワークショップの注意事項について

第1回ワークショップの振り返りと、ディスカッションの注意事項についてファシリテーターより説明。

その後、グループ内で自己紹介（アイスブレイク）を行った後、第1回と同様、2つの総合運動公園にある施設の洗い出しを行う。



前回の振り返り、WSの説明の様子

#### （2）ファシリテーターによる事例、話題提供 国内外の運動公園の活用事例をいくつか紹介。

ドイツの「フェライン」文化を参考に、琴浦型フェラインを考えてみてはどうか。

### 3. グループディスカッション

テーマ：①個々の施設の活用方法

②新たな機能やサービスのアイデア

運動公園のソフト面に関する2つのテーマについて約45分のディスカッション

### 4. 発表

<グループ1>

～施設の活用方法～

赤碕野外ステージの利活用。有名な日比谷野外音楽堂に似ており、貴重な施設。利用しないのはもったいない。現在の名称は「ふるさと広場」だが、野外音楽堂としてリスタートして

はどうか。ただし、赤碕総合運動公園の現状の駐車場では駐車台数が足りないので、拡充が必要。

～新たな機能やサービス～

スポーツ選手にもサウナを好む方が多く、スポーツとサウナはとても相性がいい。運動公園にサウナ施設を整備し、一向平のサウナや、熱波師（アウフギーサー）と連携して、アウフグース対応の施設として整備する。後進のアウフギーサーを育成する場所としても利用し、サウナやアウフグースの聖地に。

また、東伯総合公園は周辺が林地のため、自然体験施設やキャンプ、グランピング施設等アウトドア機能の併設も考えられる。

施設に携わる人たち（行政、事業者、利用者等）の飲み会などからコミュニティを作り、気軽に話し合いのできる仕組みを作ってはどうか。

現在の利用予約システムでは、予約可能時期の問題でイベントが企画しづらいため、ルールの見直しが必要。

<グループ2>

～施設の活用方法～

東伯総合公園の多目的広場と子ども広場で、どんぐり広場とも連携し、月に1回子ども向けのイベントを行い、大人と子どもの交流の場に。ニュースポーツができる場や冬には雪合戦なども企画できる。

園路はウォーキングやサイクリングができるよう整備し、適切に維持管理する。

～新たな機能やサービス～

「琴浦スポーツセンター」などとして、情報発信や交流の拠点となるような機能を備える。ここに行けばイベントや教室の情報が得られるような施設にする。飲食販売スペースの設置やトレーニング設備の拡充で収益を出せるようにしてはどうか。

町内スポーツ少年団全体をとりまとめる機能や人員（現状は団体個々の活動で、交流なども無い）を配置し、スポーツ少年団全体での活動や交流を深める。

子ども向けのスポーツ体験イベントを行い、スポーツに興味を持ってもらうことでスポーツ少年団員を集める。

これらにより、子ども達に身体を動かすことを習慣づけ、活動を通して仲間づくりにつながってほしい。

<グループ3>

～施設の活用方法～

無料wi-fi スポットや充電スペースを整備し、有事の際に運動公園を防災公園として活用するための機能を拡充。また、公園全体を防災施設として利用できるよう、屋根付きのエリ

アを増やす。

～新たな機能やサービス～

スポーツに対するハードルを下げるため、施設のアミューズメント化を図り、特定の利用者だけでなく、町内外から多くの人が来場しやすい雰囲気をつくる。

また、若者向けにBMX やスケートボードなどのアーバンスポーツ施設を設置したり、夜間でも利用できる設備やシステムの導入、健康遊具の設置や送迎サービスにより、色々な人に使ってもらえる施設を目指す。

ホームページから予約状況が確認でき、手軽に利用予約ができる IT 化を行う。

## 5. まとめ

今回は施設をソフト面で見つめた。

これまでの公共施設運営は、管理者の視点が第一優先であることが多かったため、利用者からは不便と思われるルールやシステムもあった。

この部分をバージョンアップし、より管理しやすく、誰もが利用しやすい施設をつくるために、利用者は要求・要望だけをするのではなく、行政や民間事業者と一緒に知恵を出し合っていくことが重要。



WSの様子

## 6. 参加者感想（抜粋）

- ・自分では思いつかない意見も多く、皆さんが真剣に考えておられすごいと思った。
- ・ワークショップは町民の意見を吸い上げるのに有効であり、事業の参考となる。今回は大変有意義だった。
- ・多くの人や団体が協力、参画することでより良い施設になると思う。
- ・グループ内で意見を否定することなく話し合いができ、いい意見がたくさん出た。
- ・ワークショップ参加者をもっと集められれば、特定の人ではなく様々な意見が聞けると思う。

東伯総合公園・赤碕総合運動公園改修事業に伴うワークショップ



WSの様子